

2025年6月4日

各位

株式会社 大垣共立銀行

輪之内町およびバイウィルとの
「ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定」の締結



大垣共立銀行（頭取 林 敬治）は本日、輪之内町（町長 朝倉 和仁）および株式会社バイウィル（代表取締役社長 下村 雄一郎）と「ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定」を下記の通り締結しました。

本協定は、OKB大垣共立銀行と輪之内町およびバイウィルがJ-クレジットをはじめとした各種環境価値に関する情報の共有化、CO₂削減事業の推進などを通じて相互の連携を強化し、地域におけるカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミーの実現に寄与することを目的とするものです。

輪之内町は、2022年3月に策定した第六次総合計画の基本目標のひとつに「環境にやさしく快適なまちづくり」を掲げています。豊かな自然環境を守り、誰もが安心して住むことができる環境を次世代へ引き継ぐため、町民および事業者とともに2050年までにCO₂排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、脱炭素に向けた取り組みを進めています。

今回の協定に基づき、2025年度より同町の各施設の照明をLEDへ切り替えることで、J-クレジットの創出量は年間94.5t-CO₂を見込んでいます。

OKB大垣共立銀行は、“環境価値と経済価値の循環”を支援するバイウィルと連携し、輪之内町内の環境貢献努力によって創出されるJ-クレジットの「地産地消」をサポートすることにより、輪之内町のカーボンニュートラル達成への貢献を目指します。

記

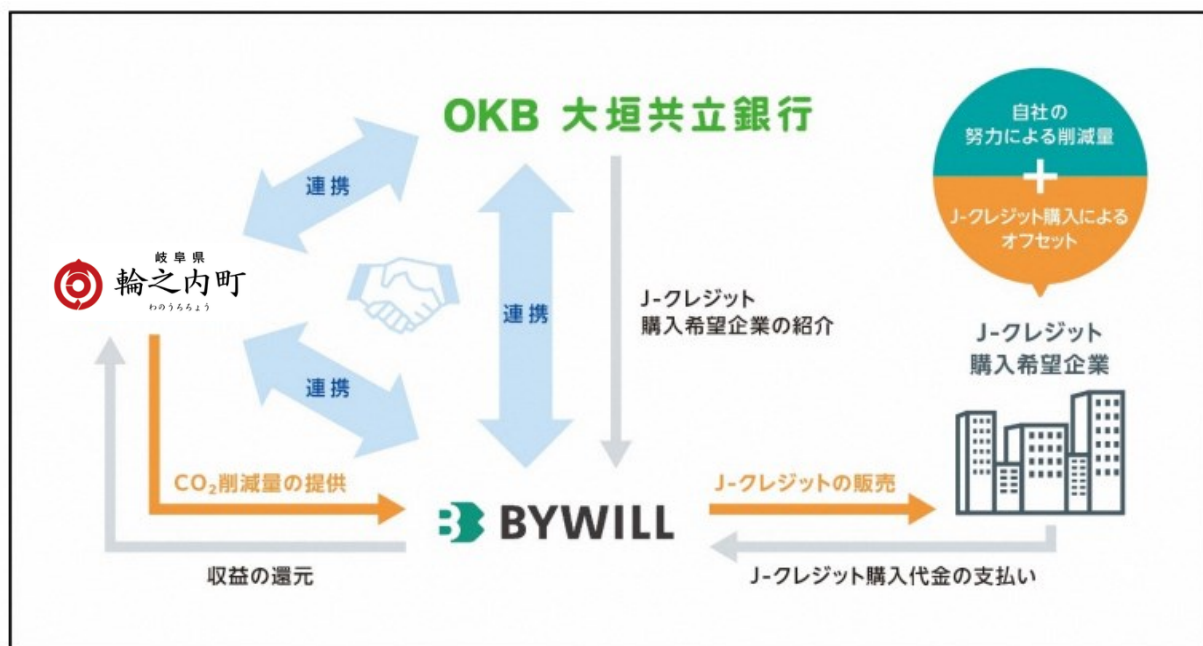
■連携協定の概要

名 称	ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定
締 結 日	2025年6月4日（水）
締 結 者	OKB大垣共立銀行、輪之内町、株式会社バイウィル
目 的	J-クレジットをはじめとした各種環境価値に関する情報の共有化、CO ₂ 削減事業の推進などを通じて相互の連携を強化し、地域におけるカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミーの実現に寄与する
連携内容	1) 環境価値に関する情報・サービス・ノウハウなどの提供 2) 環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出 3) その他、本協定の目的に資すると認める事項

以上



【連携協定内容のイメージ】



以 上